

<別紙 2>

令和 6 年度ライフプラン設計講座の実施について

1 事業概要

県内から実施を希望する 5 校を募集し、仕事、結婚、妊娠・出産、子育てを含め、自分の将来を考えるきっかけとなる講座を実施する。

また、若い世代がライフデザインを考えるきっかけを学生目線で考え、将来のライフプランを考えるグループワークを併せて実施する。

2 講座の進め方

- ・ 「講義」＋「ライフプランについて考えるグループワーク」とする。
- ・ 授業の連続した 2 コマ分で実施。

※ 「講義」のテーマは、「妊娠・出産に対する正しい知識＋選択テーマ」とし、選択テーマは、子育てと仕事の両立、ファイナンシャルプランニング、ロールモデルからの講話など、各学校と相談して決定する。

3 実施方法

- ・ 家庭科の授業（生活設計）として実施
- ・ 総合的な探究の時間の一環として実施
- ・ 卒業を控えた 3 年生への特別授業として実施 など

4 実施時期

令和 6 年 5 月から令和 7 年 2 月までの間の、各学校が希望する時期

5 令和 5 年度の実施状況について

○ 盛岡第一高校

実施日 : 令和 5 年 11 月 7 日（火）

実施方法 : 総合的な探究の時間の一環として実施（1 年生約 30 名対象）

内容 : 岩手県における少子化対策の取組から、今後の世の中の動きと自分のライフプランについて考える

○ 水沢工業高校

実施日 : 令和 5 年 12 月 18 日（月）

実施方法 : 家庭科の授業として実施（1 年生インテリア科 40 名対象）

内容 : 地元で活躍する先輩のお話から、自分の未来を考えるヒントを得る

○ 住田高校

実施日 : 令和 6 年 1 月 11 日（木）

実施方法 : 卒業を控えた 3 年生への特別授業として実施（3 年生 27 名対象）

内容 : 自分のこれまでの人生や高校 3 年間を振り返り、生徒同士の対話を通じて、自分が将来どうありたいかを考える

○ 盛岡第二高校

実施日 : 令和6年1月25日(木)

実施方法: 卒業を控えた3年生への特別授業として実施(3年生141名対象)

内容 : 助産師から妊娠・出産の正しい知識を聞き、将来のライフプランを考える

○ 花北青雲高校

実施日 : 令和6年2月27日(火)

実施方法: 家庭科の授業として実施(1年生120名対象)

内容 : ライフプランナーから「お金の役割」を聞き、今後の自分のライフイベントについて考える

<生徒の感想抜粋>

(盛岡第一高校)

- ・ 将来を曖昧でなく明確に考えることが岩手県の少子高齢化対策につながるのだなと思いました。県外に出ても岩手に戻ってはきたいかな?
- ・ 30歳を超えると妊娠、出産の可能性が低くなることが分かり、そんなに早い時期からなるのだと驚いた。

(水沢工業高校)

- ・ 自分の性格などにあった仕事を自分のペースでやっていきたいと思った。みんなもまだ悩んでいることがわかって安心した。
- ・ 給料や休暇など、表面上のことだけでなく、社会環境や仕事内容も確認して、入社する会社を選ぼうと思えた。

(住田高校)

- ・ 107歳まで生きられる可能性があるということで、ライフプランは大事だと思った。
- ・ 30代前半には出産したい。
- ・ 人にも色々な生き方があり、それがどんなものだろうと尊重すべき。

(盛岡第二高校)

- ・ 出産は歳をとるにつれてしづらくなり、タイムリミットがあるため、早いうちにちゃんと自分のライフプランを考え、しっかり向き合っていくことが大切だと思った。
- ・ お互いにこれからのことを話せるような相手と一緒にいたらいいなと思った。
- ・ 不妊症は遠い存在だと思っていましたが、全然そんなことなく、思っていたよりも多くの方々が不妊治療を受けているということから、身近だと思いました。

(花北青雲高校)

- ・ 大人の経験談を聞くのって大事だと思った。
- ・ 自分なりの軸を持って幸せのためにお金を使います。
- ・ 家族ができたらず分だけじゃなくて家族のことを考えて生活していきたいです。
- ・ お金だけに人生の価値をとられず、でもお金の使い方には慎重になり、将来の選択肢を増やすためにも社会の変化や情報を知る努力をすることが大切だと思いました。